



30年の年輪、未来の森へ

特定非営利活動法人 西川木楽会の歩みと次世代への継承

豊かな森を育む、4つの成長の軌跡

【第1期】根を張る
(平成3年~14年)
設立と夢の森づくりの幕開け

【第2期】幹を太くする
(平成15年~24年)
法人化と「木の活用」への展開

【第2期】
幹を太くする
(平成15年~24年)
法人化と「木の活用」への展開

【第3期】
実を結ぶ
(平成25年~令和元年)
イベント多様化と次代へのパトン

【第4期】
新たな芽吹き
(令和2年~現在)
デジタルとSDGsで若者へ繋ぐ

【第1期：根を張る】

166名の熱気と共に産声を上げた「森づくり」

設立の熱気：
一般市民も巻き込み
166名でスタート



拠点の獲得：
伐採跡地1ヘクタールを
30年間無償で借り受ける
協定を締結

The WHY:
林業と都市住民の相互理解を深める
「実践のキャンパス」が必要だった

「夢のユガテの森」への第一歩



針広混交林



ヒノキ



コナラ



ヤマザクラ

多様性のある
森づくりへの設計思想



160円

小さな苗木が柱になるまでの、長きにわたる手入れの始まり

50～60年



【第2期：幹を太くする】 「育てる」から「使う」への戦略的進化



The WHY:

植樹から10年。山の荒廃を止めるには、間伐材
価値を持たせ「木の出口」を創る必要があった

自ら切り、自ら挽き、森のインフラを創る

機動力の向上



ユガテの森の進化



地域への還元



間伐材の有効利用

【第3期：実を結ぶ】 木の温もりを次世代の肌へ



組み立てる
(伝統の木組み技法を学ぶ)



遊ぶ
(木の呼吸と温もりを五感で体感)






解体する
(命の循環を知る)

**真壁づくりの
良さを啓発**

社会的評価の獲得と、新たなリーダーシップ

飯能市エコツアー・
アワード市長賞 (H26)

埼玉県社会福祉協議会
表彰 (H27)

- 多様なイベントの定着：
- シイタケ栽培、竹炭焼き
- エコツアー  



平成29年
組織のバトンタッチ：
設立から23年牽引した
吉野氏から、和泉新体制へ
次代を見据えた継承



【第4期：新たな芽吹き】 コロナの風雪に耐え、森を守り抜く

新型コロナウイルス感染症の
予防対策の行動指針(案)



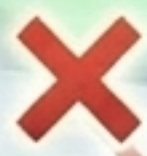
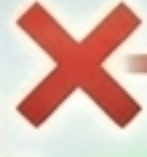
エコツアー



ワークショップ



フェスバル



予期せぬ停滞とイベント中止

定例活動
(下刈り・除伐・歩道補修)

The WHY: 人間社会が止まっても、
森の成長と荒廃は待ってくれないから

「次世代へ繋げ！」 SDGsとデジタルによる若年層へのアプローチ

課題：
メンバーの高齢化に対し、
若い力を獲得する急務



参加費：
1,500円

参加費：
500円



**結果：18歳以上限定
イベントで17名の
新規参加者を獲得！**

発信のデジタルシフト
&
SDGs推進事業

進化の軌跡：西川木楽会の戦略的シフト

	第1期 (H3-14)	第2期 (H15-24)	第3期 (H25-R1)	第4期 (R2-現在)
活動の中心	森を「創る」 (植樹)	森を「使う」 (製材)	森を「伝える」 (教育)	森を「繋ぐ」 (SDGs)
ターゲット	林業関係者・市民	会員・ハイカー	地域社会・子ども	次世代の若者
情報発信	口コミ・新聞	パンフレット	体験イベント	デジタル (新HP)
生み出した価値	ユガテという 拠点	木の出口 (インフラ)	伝統文化の 伝承	持続可能な コミュニティ

変えない理念と、進化するアプローチで次の30年へ

不変の理念：「豊かな森と人の環境を次世代へ」

伐ったら植え、育てて使う。

西川地域の「木の文化」を身近なところから実践し続ける。

1本の苗木が森になったように、私たちの小さな活動が未来の西川林業地を創ります。
ユガテの森で、次の年輪と一緒に刻みませんか。